

ミケーレ・インチェンツォ氏来日記念 クラリネットコンサート

ミケーレ・インチェンツォ : クラリネット

ナポリ出身。サンピエトロ音楽院を卒業後、ナポリのサンカルロ劇場の首席クラリネット奏者に就任。その後、アイルランドのアイルランド放送交響楽団の首席奏者、ダブリンのアイルランドアカデミーの教授を経て、ローマ、サンタチェチリア国立音楽院オーケストラ首席奏者及び、サンタチェチリア音楽院の教授に就任。

1992年、同オーケストラ退団後も、国際クラリネットコンクールの審査員等として活躍中。演奏活動はヨーロッパ、アメリカ、アジアに及ぶ。後進を育てることに熱心に取り組み、自ら作曲した「クラリネットの高度な奏法のための16のエチュード」を出版。また、幼少時代より、多くの美しいメロディを作曲しており、これらの作品は、クラリネットや他の楽器によって、度々演奏されている。

山田 慶子 : ピアノ

4歳よりピアノを始める。武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業。リア・デ・バルベリス女史のもと研鑽を積み、1998年イタリア フォリーニョでのマスタークラスで最優秀ピアニストに選ばれる。ヨーロッパ各地でのコンサートに出演している



6月15日 (水) 14時

にしのみや苑 ひまわりホール 入場無料